# 2月 学校だより

渡子小学校
平成２２年１月２９日

校長　長江留理子

**２月（如月（きさらぎ））**　２月４日は「立春」です。立春は「春立つ日」。暦の上ではこの日から春です。しかし，一年でもっとも寒い頃なので，衣をさらに着る月という意味で，和風月名を「如月」といいます。学校の校庭では，寒い中ですが，水仙の花が可憐に咲いて，いい香りを漂わせています。

## 音戸の舟唄

**２月２８日（日）**
**呉市音戸公民館ホール**









## 全国大会に向けて

今年も，音戸の舟唄全国大会が２月２８日（日）に呉市音戸公民館ホール（音戸市民センター）で開催されます。

昼にはアトラクションがあります。出場する学校は，音戸小・奥内小・田原小・渡子小の４校です。

渡子小学校では全校児童が出場します。

低学年の子ども達も，日頃先輩の歌声をよく聞いているので飲み込みが早く，難しい唄もよく歌いこなしています。保存会の方々の指導を一生懸命聞いてがんばっており，指導をしてくださる先生方から，ぐんぐん上手になるので感心すると，いつもほめていただいています。

アトラクションでは１・２年生が１番を，３・４年生が２番を，５・６年生が３番を，そして最後に全員で４番を歌うようにしています。高学年が，合いの手（〇〇）や擬音（〇〇・〇〇）櫓こぎ（〇〇）などで，全体を引き締め，盛り上げてくれます。ぜひ子ども達の舞台を見てやってください。

また当日１５：４５頃から１６：２０までの予定で，ジュニア（個人の部）の発表があります。１９組（人）出演で，渡子小学校では６人が出場する予定です。

４年　〇〇・〇〇
６年　〇〇・〇〇・〇〇・〇〇
（合いの手　５年　〇〇・６年　〇〇）

**応援よろしくお願いします**

東京生活１２年という歌手の島谷ひとみさん（波多見出身）は，昨秋，厳島神社でのライブで小さい頃歌っていた「音戸の舟唄」を歌われました。島谷さんが歌う時に想像するのは，瀬戸内海ときれいな夕日，生まれ育った島の風景だそうで，「音戸の舟唄」は島谷さんにとって歌手になる原点だといえます。渡子の子ども達も大きくなって「音戸の舟唄」を歌う時，練習したことや郷土の風景を思い出してほしいと思います。